

会 議 名	第3回港区桂坂学童クラブ等運営事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和元年11月21日（木） 15時40分から16時30分まで
開 催 場 所	高輪地区総合支所4階会議室
委 員	出席者 6名 阿部委員、秋山委員、岩崎委員、野澤委員、野上委員、細川委員
事 務 局	高輪地区総合支所管理課 佐藤課長、施設運営担当 永吉、出口
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	1 開会 2 議題審議 議題1 第二次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）について 議題2 運営事業者候補者の決定について 3 閉会
配 付 資 料	[席上配布] 資料1 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）方法について 資料2 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）表 資料3 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）評価用メモ 資料4 第一次審査集計表

会議の結果及び主要な発言

事務局	1 開会 事務局より本日のスケジュールについて説明
委員長	2 議題審議 議題1 第二次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）について （事業者Aによるプレゼンテーション実施） それでは、これからヒアリングに入ります。限られた時間ですので、質問への回答は簡潔明瞭をお願いいたします。
委員A	先ほど、低学年と高学年は過ごし方が異なるため部屋を分けるという話をされました。高学年の過ごし方の想定、高学年に対応する時の課題をどうとらえていますか。また、部屋をわけるにあたり、それぞれの年齢層に対する工夫や活動があれば教えてください。
A事業者	まずクラス別運営を行った背景を説明します。200人の子供たち一人一人に対し、きめ細かいサポートを行うために、学校のようにクラス別にし、担任を配置することを考えました。高学年は学校の授業時間が長く、学童クラブで過

ごす時間が短いです。全5クラスのうちの1クラスを高学年クラスとして設けることで、高学年の時間を低学年の時間に無理やり合わせることなく、高学年クラスの生活の時間に合わせることができます。つまり、子供たちにストレスを与えず生活への配慮ができるよう、高学年クラスを設けました。

また、クラス別運営は、ほかのクラスの子供たちと遊べないわけではなく、何かあった時に戻ることのできる自分たちのホームベースという役割をクラスに持たせます。おやつや帰りの会などは自分たちのクラスで行いますが、フリータイムや宿題をするときは違うクラス、階のお友達と一緒に遊べる形で、生活の工夫をしております。

委員B

施設長候補者が学童クラブに携わる中で、学童クラブの魅力と難しさをどんな点に感じますか。

A事業者

魅力は、子供の成長だけではなく、その子の人生に関われることです。そこに関わる責任があります。自分も、子供たちと一緒に遊びますし、指導することもあります。様々なことを子供に教えますが、子供自身から教わることも多々あります。その中で、その子が自分よりも立派な大人に成長してほしいという願いを込めて、子供たちの成長に携わっています。いまだに指導内容があるか悩むこともあります。その子の将来を信じて、今の自分が伝えられることを伝えています。そこに魅力と課題があると思っています。

委員C

1点目が事業提案書の5(6)学校との連携協力という内容がありました。プレゼンテーションの中にあつた、定期的な情報交換の場の設定を、具体的にどう考えていますか。

2点目、最近、台風や風水害などの緊急対応が非常に重要です。事前にわかるものは、前日に学級閉鎖などをお知らせできます。しかし、風水害等では、当日の朝に対応を決定することが非常に多いです。緊急対応はどう考えていますか。

A事業者

学校との連携に関しては、開設前、可能であれば打合せをし、施設の使用方法など、相談させていただきたいと思っています。また、既存の港区放課GO→クラブ施設では、副校長先生との連絡会の時間をいただき、様々なことを共有しています。

緊急対応に関して、先日の台風では、支所管理課からの通達により、各ご家庭への児童の利用の自粛要請の文書を配布しました。配布できなかったご家庭には、電話で1件ずつ確認しました。

本部としては、当日の緊急対応でも運営ができる体制をとっております。今回は台風のため、事前に対応しましたが、当日臨時休校でも学童クラブが営業することはあるため、対応できる人員を確保しております。万が一開室しないとしても、職員の待機もしております。所管課と学校に情報共有しながら、対応をとりたいと考えております。

委員C

緊急対応では、基本的に受け入れるということですか。

A事業者

学童クラブと、港区放課GO→クラブのうちの学童クラブは希望の児童がいれば受け入れます。放課GO→は、ご家庭で保護ができますので、利用できません。

先日の台風の際には、児童の安全確保のため、利用の有無を事前に確認し、全員が学童を利用しないことの確認が取れたため、閉室した施設もあります。

委員D	<p>その際にも区に確認をしたうえで閉室しました。</p> <p>5（1）年間事業計画で、港区の目指す子供の姿「自ら学び」「考え」「行動する」を主体とした各種活動への参加が示されており、大変よいと思います。子供の〇〇の力を育てます、子供に〇〇を指導しますといった文言ではないところから、子供が主体的に力を発揮する姿に重点を置いていることを感じます。子供が自ら学び、考え、行動した姿を示した事例を一つ教えてください。</p>
A事業者	<p>今、子供たちがみんなでけん玉を一生懸命練習しています。初めは持ち方もわからなかった子供たちが、今は自分たちで教え合い様々なことができるようになったことに子供たちの力を感じます。</p>
委員D	<p>港区放課GO→クラブたかなわだいの、放課GO→一般利用の想定人数を教えてください。</p> <p>また、7月以降の施設間の連携について、6月まで同じ施設にいる子供たちが7月以降2つの施設に分断されることをどのように解消するかを教えてください。</p>
A事業者	<p>職員配置は、放課GO→の利用児童が40名程度を想定しました。人数の増加があれば職員も増やす必要があると考えます。</p> <p>分断については、4月～6月は同じ施設で過ごすため、お互いの施設の児童同士で面識もでき、深い関係性も築けることを考慮して、7月以降も合同行事の開催など、連携を継続し続けることを考えております。</p>
委員E	<p>年度途中で一部の子供をほかの施設に移すことは、港区として初めてであるため、非常に心配しています。無事に乗り切る方策があったら教えてください。</p>
A事業者	<p>合同行事以外では、まず、港区放課GO→クラブたかなわだいに移る40人を1クラスとしてまとめます。子供たち・保護者双方が心構えできるよう、移行する前に、移行することを改めて説明します。子供たちが移行を楽しみに思えるように、移行後の活動内容を子供たちと考えます。</p> <p>それでは、時間となりましたので、プレゼンテーション及び質疑を終了いたします。</p> <p>（A事業者退席）</p> <p>（採点・休憩）</p>
事務局	<p>議題2 指定管理者候補者の決定について</p> <p>採点集計結果について説明</p>
委員長	<p>各委員の皆様から講評をお願いし、内容を審議します。</p> <p>運営事業候補者の選考理由を明確にするため、評価については出来るだけ具体的をお願いします。</p>
委員A	<p>施設長候補者は2人とも落ち着いて返答されていた印象を受けました。移行については、保護者や子供の不安感を解消する方法や、移行を子供たちの楽しみに繋げる工夫があり、心強く感じました。</p> <p>高学年への配慮は運営提案書、質問への返答から、重要視していると感じました。生活時間の違いによる子供たちの負担への配慮など、高く評価をいたし</p>

委員B	<p>ました。</p> <p>施設長候補者が、親子交流プログラムの実施や学校、保護者、地域、児童館と交流をしている点を高く評価しました。1点、施設長候補者の方が単年度で異動していることが少し気になりました。</p> <p>仕事の魅力について質問への回答で、緊張からか子供との具体的なエピソードが出なかったため、評価を低くしました。</p>
委員C	<p>全体的な印象として、大変真摯な態度で説明をしており、好感が持てました。ただ、支援内容や、積極的な学校との連携の具体性はあまり見えないと思いました。今後、より具体的に考え、より具体策を持って取り組むことに期待を込め点数をつけました。</p>
委員D	<p>この事業者は常識・安定感ともに備えている点を評価しました。</p> <p>港区の目指す子供の姿「自ら学び」「考え」「行動する」を主体とした各種活動への参加については、着眼点がよいと思いました。</p> <p>子供と一緒に安全マップを作ることは、とてもいいと思いました。子供の安全への意識を高めるためのいい取り組みが幾つもありました。港区の場合、学童クラブ運営がいい形で蓄積されており、事業者も施設でいい蓄積をしていると感じ、評価しました。</p>
委員E	<p>新規開設の港区放課GO→クラブたかなわだいについては、放課GO→の人数や、学校との連携など、見込みが難しく、具体性の不足も見られましたが、概ね良好な事業者であると感じ、全項目に20点をつけました。</p>
委員F	<p>施設長候補者2人は、子供に対するビジョンが明確で、受け答えも非常に安心できました。本部の方と施設長候補者との話から、連携もできている印象を持ちました。施設長たちには安心して任せられると感じたので、いい点をつけました。</p>
委員長	<p>点数の修正はございますか。</p>
委員B	<p>提案の実現性を、20に修正します。</p>
事務局	<p>それでは、第一次審査・第二次審査合計点数を発表します。</p> <p>【A事業者】第一次審査 936点 第二次審査 470点 合計点 1406点</p>
委員長	<p>当該A事業者については、基準点数を超えているだけでなく、第1次審査・第2次審査を通して、運営についても問題ないように思います。よって、港区桂坂学童クラブ等運営事業候補者としてもよろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>(承諾)</p>
委員長	<p>それでは、当委員会として、港区桂坂学童クラブ等運営事業候補者をA事業者と決定します。</p>
<p>3 閉会</p>	